

Enjoy
Nishinoshima!

西ノ島町観光協会

西ノ島に修学旅行生、来島！

今年も西ノ島に修学旅行生が来てくれました！

今回は奈良県から生徒約170名が訪れ、5月15日～17日までの2泊3日の行程で、ナイトクルージング、国賀観光、摩天崖トレッキング、魚釣り、マリンスポーツなどを体験してもらいました。全行程において風もなく晴天で、最高のコンディションの中、子どもたちの溢れんばかりの笑顔が印象的でした。また、2日目の夜には生徒たちの演芸会がノアホールで行われました。ダンス、漫才、コントなど、一生懸命練習していたのが分かるほどクオリティの高いものが披露され、生徒たちが修学旅行を楽しく有意義なものとするために工夫していることにとても感動しました。

離島する際のお見送りでは、フェリーの姿が見えなくなるまで手を振りながら、生徒たちから大きな声で「ありがとう！」の言葉をもらい、感動的でした。

この度、修学旅行の受け入れにご協力くださいました島内関係者の皆様にはお礼申し上げます。ありがとうございました！！



発見！ 西ノ島の自然の魅力 Vol.39 『自然観光のヒント：山林の鳥』

西ノ島では四季を通じてたくさんの渡り鳥が訪れます。渡り鳥の中には春から夏にかけて西ノ島で子育てするものがあります。西ノ島の代表的な山林である焼火山や高崎山の周辺では、この時期になるとオオルリ、キビタキ、サンコウチョウ、アカショウビン、ミゾゴイ、アオバズクといった渡り鳥たちの声が当たり前のように聞こえてきます。これらの鳥たちは西ノ島だけで見られる鳥ではありませんが、実は当たり前のように見られる鳥ではありません。この西ノ島の鳥の魅力は、鳥だけが好きという方よりも、アウトドアに興味を持っている方や鳥に親しむ機会の多い外国の方のほうがより魅力的に感じているようです。これらの鳥は観光協会のホームページで紹介しています。ぜひ観光客の方にも紹介してくださいね。



▲サンコウチョウ



▲キビタキ



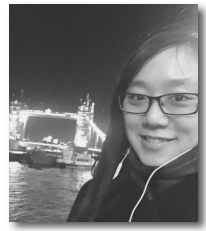
▲アオバズク

文・写真：江崎 逸郎（元西ノ島町観光協会職員 北海道苫小牧市在住）

カレドニアンって？

初夏の風に肌も汗ばむ頃、皆さんお変わりございませんか。

4月30日（火）、西ノ島町に今年初の外国籍豪華客船が寄港しました。その客船の名前はカレドニアン・スカイ（英：Caledonian Sky）です。私はこの名前を見た瞬間、この船は「スコットランドから来たのか！」と思いましたよ（笑）。その理由は「カレドニアン」という言葉にあります。



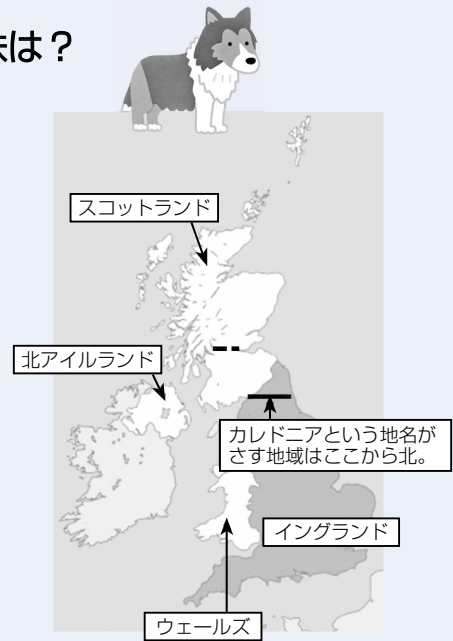
国際交流員
ウォン・チンイン・クレオ

「カレドニアン」（英：Caledonian）の意味は？

カレドニアン（Caledonian）は主にスコットランド（特にスコットランド高地）にある場所や動植物の種を説明する時に使われている地理学用語です。また、フランスの海外領土であるニューカレドニア（フランス語：Nouvelle-Calédonie）の場所や人にも適用します。

そして、なぜスコットランドを先に思い出すのかと言うと、ローマ帝国時代にカレドニアと呼ばれていた場所がほぼ現在のスコットランドにあたるからです。カレドニアという呼び方を使うとロマンチックな響きがしますね。

カレドニアという言葉で思い出すものがもうひとつあります。それがカレドニアンフォレスト（Caledonian Forest）という森です。



▲カレドニアという地名が
さすとされている地域の図

カレドニアンフォレストという森はどこにありますか？

カレドニアンフォレストにはヨーロッパアカマツが自生していて、昔はスコットランド高地を覆っていた大きな森でした。今では過伐採や山火事と過放牧によって1割ぐらいしか残っていませんが、森の復元計画が実行されています。この森には独特な生態系があり、イギリスでは希少とされている野生生物も生息しています。

現在残っている森は、主にスコットランドの西岸と、スコットランド東北にあるケアンゴームズ国立公園の中にありますね。今度スコットランドに行く時はカレドニアンフォレストで森林浴をしようかな。。



▲スコットランドにて「カレドニアン
スカイ」（スコットランドの空）へ
ジャンプ！

*国際交流員 Facebook やってます！

西ノ島町国際交流員

検索

で検索してね！